

ふるさと
魂の故郷 屋代
質実剛健 文武両道



Yashiro Fuzoku Junior High School



長野県屋代高等学校 附属中学校



県立中高一貫校

創立平成24年度(開校13年目)



令和6年度(2024年度)

学校案内



<https://yashiro.jpn.org/> 附属中活動↑



旧埴科中学校校舎(大正12年頃)

伝統と実績

大正12年に「長野県埴科中学校」として開校し、大正14年に「長野県屋代中学校」と改称されました。その後、昭和23年の学制改革により「屋代東高等学校」、更に昭和38年「長野県屋代高等学校」と校名を変更しながら令和5年度に創立100周年を迎えました。これまでの間、定時制の併設(昭和23~51年)、理数科設置(平成4年)、そして附属中学校創設(平成24年)など、地域と時代の要請に応える後期中等教育の中核をなす高等学校として発展してきました。

魂の故郷屋代

屋代高等学校の生徒(=屋高生)が、学校で過ごした時間や経験はかけがえのないものであり、人生における精神的な支柱、そして心の拠り所になっていきます。

卒業生が胸のうちに大切に抱くその思いは、校歌の中で『魂の故郷(たましいのふるさと)』という言葉で表されています。屋代高等学校では心を育てることで、人を育てていきます。

屋代高等学校の校是の一つが『質実剛健』です。その意味は、「飾り気がなく真面目で、たくましく、しっかりしているさま」を指します。

屋高生の日々の生活、姿そのものが校是と一体化しています。

屋代高等学校 校歌

高照らす 天つひかり
かがよへり 青垣山に
ああ 努力 心おどる
われら われら 遂げむ
魂の故郷 やしろ

高照らす 天つひかり
かげろへり 河の千隈に
ああ 剛健 心しまる
われら われら 学ばむ
魂の故郷 やしろ



作曲 草川 信
作詞 佐竹盛富

屋代高校の校章はなぜ「鳩」なの？

創立時の名称は「埴科中学校」で通称「埴中」(ハニチュウ)と呼ばれていました。「鳩二羽の中学」ということで鳩が二羽います。

制服

School Uniforms



夏服



冬服

男子の制服はやや灰色がかった墨黒の詰襟学生服で、6個のボタンが中高一貫6か年を表現しています。女子の制服はグレーのブレザーとスラックスやあんずの花をイメージしたミニチェック柄のスカートです。男女共、胸に本校オリジナルの刺繍、校章をデザインしたボタンを使用し、附属中学校の生徒としての気品と誇りが漂う制服になっています。

現役生の言葉

第11期生 屋代高等学校附属中学校 生徒会長 山浦直人さん(附属中3年生)



「意思力」「思考力」「貢献力」「人間力」「創造力」「教養力」「協働力」「実行力」これは、屋代附属中のすべての教室に飾ってある言葉です。僕は、今までの2年間だけでも、これらの力を主に、「授業」、「探究学習」、「生徒会」を通して、ものすごく高めることができたと思っています。

まず、授業。授業では、1人1台情報端末を活用し、内容をまとめて発表したり、共同編集したり、互いに教えあったりして、みんなで成長していくことができます。この学校のモットーは、「学ぶ人とはぐれるな」です。仲間と協力して、全員で深めていくのが屋代附属中の学習です。

次に、探究学習。探究学習では、1・2年生の頃には千曲市活性化を、3年生は自分の興味のあることを探究しています。教科書では学べない、しかし生きていく上で大切なことを学べます。

最後に、生徒会。全校240名でより良い学校を創るために、生徒会というチームで協働し、企画を実行しています。全校生徒が生徒会を通して飛び出せるような、走りだせるような、環境を作っています。

もちろん、この3つだけでなく、班活動や日常生活の中でも、成長していくことができます。このように、僕たちは、この屋代附属中で充実した楽しい日々を送りながら、成長しています。

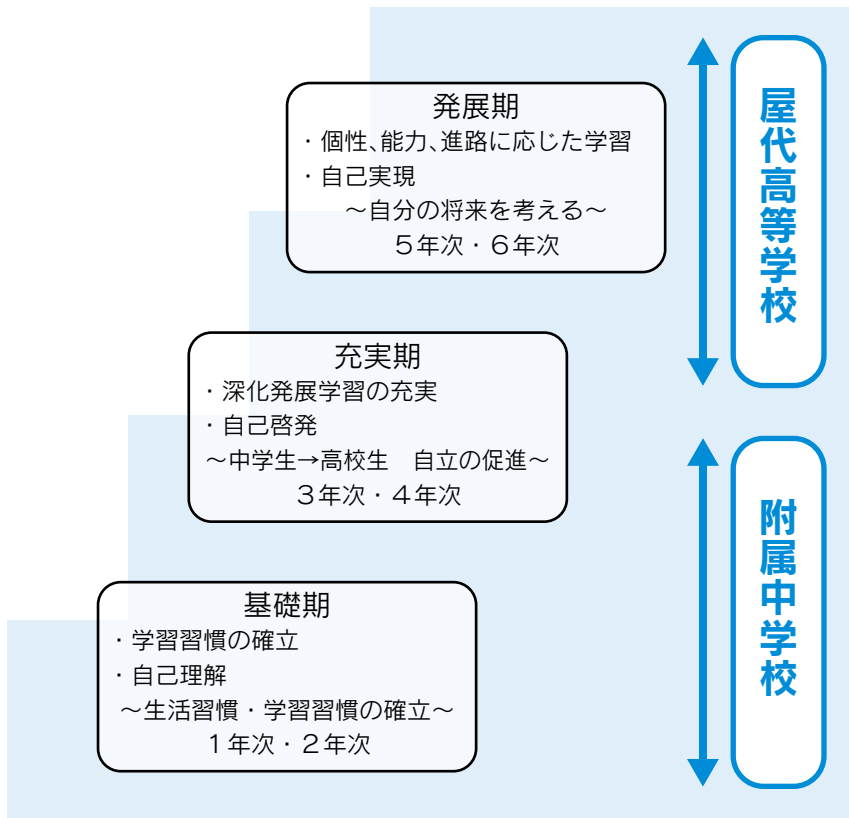
教育理念 平成24年、この教育理念のもと屋代高等学校附属中学校が設立されました。

人の心の痛みのわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成を目指す。

目指す生徒像 3つの要素を育て、バランスのとれた人材育成を目指します。

本校では、成長していく生徒一人ひとりをバランスのとれた強くたくましい人材に育てていきたいという願いのもと、「高い知性と創造性」を身につけ、「豊かな人間性」を育て、「健やかな心と体」を育成するという3つの要素を大事にして指導していきます。

発達段階に応じたステージ設計



先輩の言葉

第9期生

岩間有咲さん（屋代高校2年生）

中高一貫校である屋代高校附属中学校の魅力は、同じ仲間と6年間一緒にレベルの高い環境で学ぶことができたこと、班活動に取り組むことができるところだと思います。



附属中の授業は、ただ先生の話聞く受け身の授業だけではなく、友だちと問題について考えたり、自分の考えを発信することが多く、より深い理解をすることができます。また、附属中は身近に高校生という存在がいるため、高校や大学、その先の将来のことまで意識することができ、目標を持って勉強に取り組むことができました。

班活動では、私は中学から硬式テニス班に所属しており、今も中学のときの仲間と一緒に練習に励んでいます。中学生のときには、高校の先輩方と一緒に練習する機会があり、憧れの存在が身近にいることは、班活に対するモチベーションにもなりました。

附属中で過ごした3年間で、私の人生の糧になるようなたくさんのことを学ぶことができました。自分の夢を叶えられるように、この学校で学んだことを活かしていきたいです。

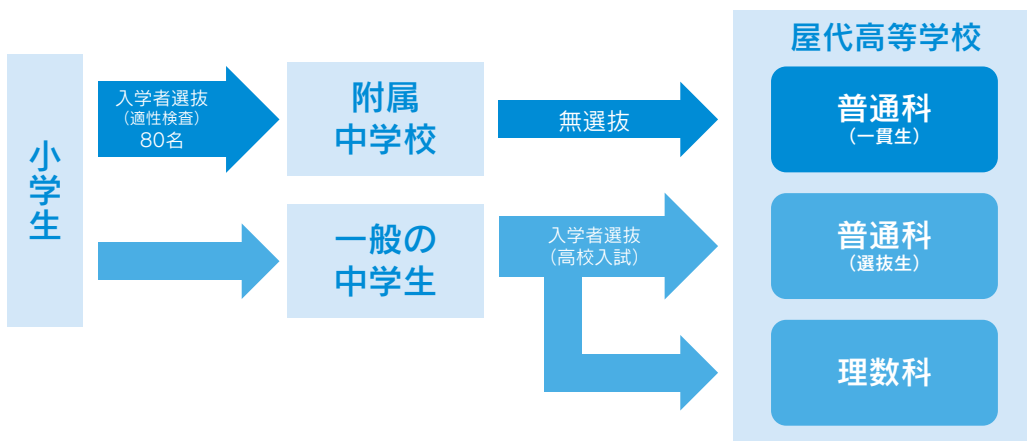
併設型中高一貫校のしくみ

School Pathway

本校は高等学校と同じ敷地に中学校を併設した『併設型中高一貫校』です。

入学者は入学者選抜（適性検査）により決まります。中学校へ入学後は、附属中学校で3年間学習活動を行い、無選抜で屋代高等学校普通科へ進学します。

つまり、本校は“屋代高等学校の生徒になるために学び、活動する中学校”です。



学校生活

4月
April

- ・始業式
- ・入学式
- ・新入生歓迎会
- ・地域探索
- ・マラソン大会

入学式



マラソン大会

中高合同で行う行事。学年関係なくみんなで励ましあいながらゴールを目指します。

9月
September

- ・千曲市探索（1年）
- ・前期考查
- ・研修旅行（2年）
- ・大学見学（3年）

研修旅行

探究活動の一環として3日間、調査や活動のために2年生が参加します。



5月
May

- ・班結成
- ・授業公開①

地域探究学習

様々な視点を持ち、地域について探究的に学習します。例えば、棚田の田植えに参加、地域の方へのインタビューや調査結果の整理など、主体的に活動しています。

8月
August

- ・夏休み
- ・授業公開②

7月
July

- ・鳩祭
- ・保護者懇談会

鳩祭

生徒会行事最大のイベント



10月
October

- ・終始業式
- ・修学旅行（3年）

修学旅行



6月
June

- ・芸術鑑賞
- ・クラスマッチ
- ・中学校説明会
- ・中体連北信大会

11月
November

- ・福祉体験（2年）

福祉体験

ボッチャを体験したり、福祉施設で職場体験をしたりします。



9割が電車通学

東北信地域を中心に、電車、バス、自転車を利用して通学しています。しなの鉄道の「屋代高校前駅」が徒歩5分と近くにあるため、9割近くの生徒が電車を利用しています。



生徒会活動

令和3年度から全員参加の生徒会として中学校独自の生徒会を加え、全部で16の委員会に分かれて活動しています。令和6年度スローガン「翔駆〜240人紡ぐ第二章〜」のもと、学校生活をより充実させるような自治活動を目指しています。



昼食はお弁当

昼食はお弁当を各自持参し、「牛乳給食」として牛乳のみ配膳されています。また、幹旋弁当の注文や、第3木曜日に「カレーの日」を実施しています。



総合文化発表会

1年間行ってきた探究活動のまとめを発表する日。探究的な学びは附属中での学習の核心と言えるものです。



3月
March

- ・一人一研究発表（高校）
- ・海外語学研修
- ・卒業式
- ・終業式・離任式

卒業式



2月
February

- ・後期考査
- ・総合文化発表会

1月
January

- ・生徒会選挙



生徒会選挙

12月
December

- ・県立中学校入学者選抜
- ・保護者懇談会
- ・冬休み

海外語学研修



CSS 特別講座

Co-Studying Space の略称で、『学びの共同空間』という意味です。仲間や高校生と共同して、自分に必要な学びに取り組むことを目的として、毎週水曜日に実施しています。学年の枠を超えて学習に取り組むことや、わからないことを互いに聞いたり教えたりする空間となることを目指しています。



オンライン授業・探究学習日

年に数回、登校せずに行うオンラインによる在宅学習を実施しています。朝から3時間程度オンライン授業を行い、午後は探究学習として自ら学びをさらに深めたり、自分の興味のあることについてじっくりと深く探究したりする日として設定しています。



ICT は文房具として

毎日 ICT を効果的に活用した授業を展開しています。授業に限らず、生徒会活動や家庭学習にも幅広く活用しており、生徒にとっては文房具の一つとなっています。



生徒たちが自分の力で学び続けられる人になれるように、友と協働的に学ぶことを大切に授業をしています。具体的には、「協働的に学ぶ授業」「探究活動」「自主的な学び」という三つの柱で生徒の学びを支え、資質・能力を育成します。

屋代附属の国語

言葉のはたらきに注目し、効果的な表現や論理的な文章の展開について追究していきます。



グループになって一つの問いに対してタブレットを使ってまとめ、発表します。



屋代附属の数学

数学的な考え方を使い、仲間とともに答えまでの過程を大切にしながら考えていきます。



屋代附属の社会

歴史や現代社会の中にある「なぜ」について、資料を集めて仲間とともに解決していきます。



仲間やA・L・Tと英語を使ったコミュニケーションを図ります。

屋代附属の理科

様々な自然事象から生み出される「なぜ」を大切に、理科の見方・考え方を働かせて探究していきます。



55分授業なので、深く追究したり、じっくりと生活とつなげて考えたりできます。

屋代附属の英語

実際のコミュニケーションを想定した活動や自分の考えを伝える活動を通して英語の力を身に付けます。



屋代附属の道徳

自分の意見や考えを共有しながら、互いを尊重し合う大切さを学びます。



屋代附属の美術

自分の想像力を働かせたり、ものを見て感じたりしたことを様々な作品で表現します。



屋代附属の保健体育

楽しく身体を動かし、豊かに生きていくための体力と健康に関する知識を身に付けます。



屋代附属の音楽

仲間と協力しながら合奏・合唱の練習を進めたり、鑑賞の活動を通して、音楽的な見方や考え方を広げていきます。



身体を動かすおもしろさや仲間と協力する楽しさを感じることができます。

屋代附属の技術

身の周りで役立つものを考え、実際に自分たちで作ります。



屋代附属の家庭科

生きていく中で必要なスキルを身に付け、よりよい生活を作り出します。



卒業後の進路

After Graduation

屋代高等学校の卒業生は、“自分の夢の実現”のためほとんどの生徒が 四年制大学・短期大学等の高等教育学校へ進学します。生徒は、学校での通常授業や補習授業等での学習を大切にして、大学入試に臨みます。下の表は、令和5年度(2023年度)の卒業生の合格状況と、過去5カ年の主な進学先です。

令和5年度卒業生合格状況

生徒数	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校等
272	170	391	2	3

最近5カ年の主な進学先 (四年制大学・既卒含む)

国公立大学

北海道、東北、秋田、福島、茨城、筑波、群馬、埼玉、千葉、お茶の水、電気通信、東京、東京医科歯科、東京海洋、東京外国語、東京学芸、東京農工、一橋、横浜国立、新潟、上越教育、富山、金沢、福井、山梨、信州、静岡、名古屋、京都、大阪、神戸、徳島、九州、宮崎、福島県立医科、高崎経済、東京都立、横浜市立、都留文科、長野県立、長野 等

私立大学

独協、千葉工業、青山学院、学習院、北里、慶應義塾、国際基督教、工学院、國學院、東洋、駒澤、芝浦工業、順天堂、成蹊、上智、専修、中央、日本、津田塾、東京女子、東京電機、東京理科、法政、明治、立教、早稲田、明治薬科、学習院女子、南山、同志社、立命館、関西、龍谷、近畿 等

第7期生

橋元舞生さん (東京大学教養学部)

先輩の言葉

屋代高校附属中学校で学ぶことができてよかったことは何か、と聞かれた時、私には自信を持って言える答えがあります。それは、友達と学ぶ楽しさを知ったことです。

附属中学校では、まず自分で考えてみて、それから近くの席の友達と話し合うという機会が多くあります。お互いに気になっていることが同じであったら、一緒に意見を出し合いながら悩むことができ、違っていれば、新しい疑問点を見つけたり、教えあったりすることができます。私自身、数学の授業中に友達と議論し共に考える中で、高校で習う範囲のことに気づくことができた時には、とても楽しく、嬉しかったのを覚えています。自分が気づけなかった見方を友達に教えてもらったり、逆に自分の発見を友達と共有したりするのはとてもわくわくしました。

附属中学校で学んでから、私はそれまでよりもさらに学ぶことが楽しくなりました。附属中学校での思い出は、私が学びを楽しみ続けている、その根幹にあると思います。



クラブ活動

Club Activities

中学班活動の主な成績 (令和5年度)

- ハンドボール 中体連県大会 男女3位
新人大会県大会出場
- 硬式テニス 北信越中学生テニス選手権大会 男子団体戦出場
全国中学生テニス選手権大会 女子団体戦出場
- 柔道 中体連県大会出場
- 水泳 中体連県大会出場
- 卓球 中体連北信大会出場 (更埴予選男女優勝)
- 科学 長野県学生科学賞作品展覧会 入選
科学の甲子園ジュニア 県大会出場
CHIKUMA STEAM PARK!! 開催
- 吹奏楽 北信B地区吹奏楽コンクール B編成 銀賞
長野県アンサンブルコンテスト中学校の部
北信ブロック大会 銀賞2グループ
- 合唱 第37回長野県学校合唱大会地区大会 銅賞
- 書道 第76回長野県書道展覧会 金賞1名 銅賞1名
一般財団法人驪山館主催全国書初展覧会「文部科学大臣賞」
「長野県町村会賞」「長野市立博物館賞」「長野経済新聞社賞」
各受賞
- 美術 各種コンクールに出品



運動班

柔道
剣道
卓球
水泳
硬式テニス
ハンドボール
バスケットボール
山岳

学芸班

吹奏楽
合唱
合奏
科書
書道
美術
演劇
英学
弦楽
ギター・マンドリン

Q 毎日の宿題とテストについて教えてください。

A 学習習慣とテスト・考査等を学期の中で一連のサイクルとなるように年間計画を立てています。

☆印のついた月ではチェックテスト（単元テスト）や9教科のパフォーマンステスト、レポート課題などを主に行います。自分の力を確実なものにするために再テストを行う等の学習サイクルを導入しています。

4月・8月・1月に学力推移調査で全国における自分の学力を確認し、9月と2月に定期考査を行い、前期と後期それぞれの評価をします。

チェックテストや定期考査には、目標到達度に達成できるように、朝や放課後を使って学習したり、類似問題の課題を出したりします。指導と評価を一体的にとらえ、生徒一人ひとりの学習の成長を支援していきます。

屋代高等学校附属中学校のテスト・考査等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前期	学力推移調査	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	学力推移調査	学力の高まり 定期考査
後期	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	☆ 目標に到達できるように繰り返し確かな学力を身に付けます。	学力推移調査	定期考査	学力の高まり

入学者選抜 Aptitude Test & Interview

志 願 受 付 令和6年11月12日(火)～14日(木)
適性検査・面接 令和6年12月 7日(土)
合 格 者 発 表 令和6年12月17日(火)

【募集定員】

・80名

【志願資格】

- ・令和7年3月に小学校、特別支援学校小学部を卒業する見込みの児童
- ・保護者とともに長野県内に居住する児童（自宅からの通学を基本とする）

※詳しい内容は、長野県教育委員会ホームページ、又は学校ホームページをご覧ください。

・第71回長野県統計グラフコンクール

長野県知事賞1 長野県議会議長賞1 TSB賞1 佳作4
努力賞2

※学校賞として、優秀校受賞

・MESE 全国大会「知の甲子園 2023」全国大会出場

・中学生の税についての作文「上田税務署長賞」など6名入賞

・スクラップ新聞コンクール 「優秀賞」など4名入賞

・第45回長野県読書感想文コンクール 銀賞1 銅賞1
入選1

・2023年度「小さな親切運動」作文コンクール 銅賞2

・第73回“社会を明るくする運動”長野県作文コンテスト
入選



長野県統計グラフコンクール表彰式

入学者選抜 Aptitude Test & Interview

学校納入金 School-Related Fees

(1年次)

I 入学時学校納入金 15,000円

II 5月分以降の学校納入金〈予定額〉
(教材費・旅行積立等) 5月 33,000円

7・9・11・1月 16,000円



【お車でお越しの場合】 更埴 I.C. より約5分

【電車でお越しの場合】 屋代高校前駅より徒歩約5分

【問い合わせ先】

長野県屋代高等学校附属中学校

〒387-8501 長野県千曲市屋代 1000

電話 026-272-9201 FAX 026-272-9202

E-mail yashiro-fuzoku@pref.nagano.lg.jp HP <https://www.nagano-c.ed.jp/yashiro/>

